

◆天上におられるキリストの姿

1:9 私（ヨハネ）は、①あなたがたの兄弟（→キリスト者〈男性〉の人格的結びつきを示し、女性の場合は姉妹と呼ぶ）であり、②共にイエスと結ばれて、その苦難（→ローマ皇帝による宗教的迫害、外側からの物理的圧力）と御国（→王国）と支配（主の恵みに満ちた御国を心から待望する）忍耐とにあずかっている（→しっかりと踏み止まっている）ヨハネである。私は、①神の言葉（に対する信仰と宣教）と②イエス（について）の証しのゆえに、（エフェソでの牧会後）パトモスと呼ばれる島に（囚われて）いた。
→宣教、礼拝

君たちの兄弟であり、患難と王国とイエススにおける忍耐とに共に与かる者である、私イオーアンネースは、神の言葉とイエスススの証しのためにパトモスと呼ばれる島にいた。

▶ヨハネは、第11代ローマ皇帝ドミティアヌス皇帝（在位：AD81～96）による皇帝礼拝を拒み、パトモス島に幽閉されていた。ドミティアヌス皇帝がAD96年に召使いにより暗殺され、第12代ネルウァ皇帝の治世になってから、ヨハネは釈放、エフェソに戻り、天寿を全うした。

→ネルウァ皇帝（ローマ帝国の全盛期とされる五賢帝の最初のローマ皇帝）

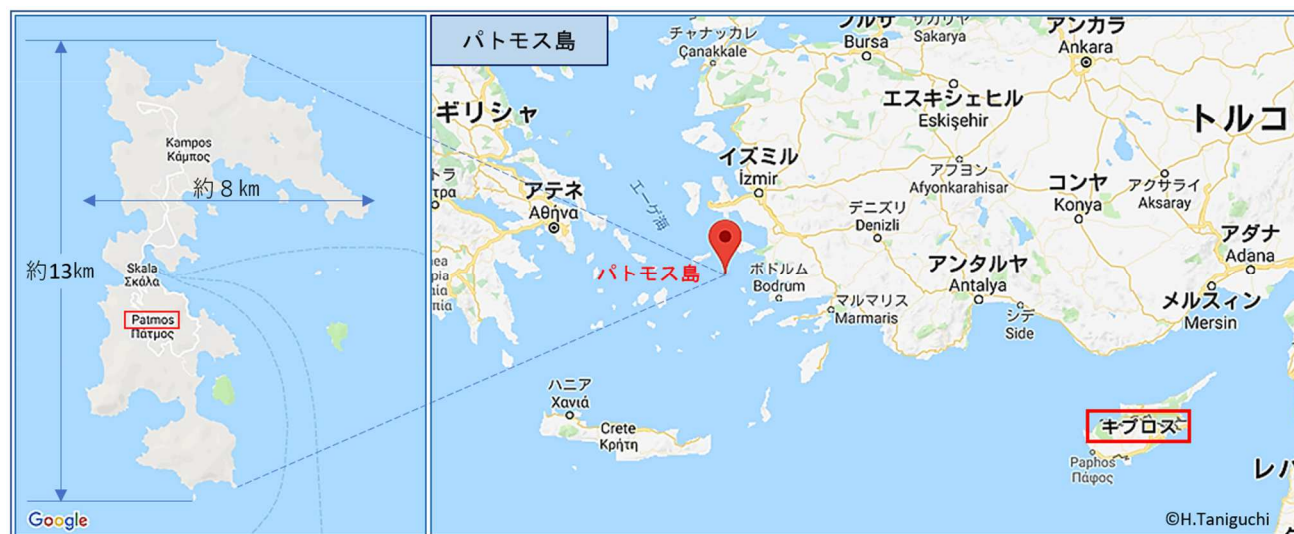
AD96年、前帝ドミティアヌスが暗殺され、後継がなかったため、元老院は議員のネルウァを指名した。彼は元老院に諮りながら政治を行い、97年にトラヤヌスを養子に選び、翌98年に死去、トラヤヌスが帝位を継承した。政治面に特筆すべきことはなく、このトラヤヌスを後継に指名したことが功績とされる。

1:9(01)	εγω	エゴウ	私は	人称代名詞・一人称・主格・単数
1:9(02)	ιωαννης	ヨアンネイス	ヨハネ=ヤハウエハが恵みを与えた=は	名詞・主格・単数・男性
1:9(03)	ο	オ	それは	定冠詞・主格・単数・男性
1:9(04)	αδελφος	アデルフォス	兄弟は	名詞・主格・単数・男性
1:9(05)	υμων	ユモウン	あなたたちの	人称代名詞・二人称・属格・複数
1:9(06)	και	カイ	そして	接続詞
1:9(07)	συγκοινωνος	スンコイノウノス	共有の仲間の[者は]	形容詞・主格・単数・男性
1:9(08)	εν	エン	～[に]において	前置詞
1:9(09)	τη	テエイ	それに	定冠詞・与格・単数・女性
1:9(10)	θλιψει	スィプセイ	苦難に	名詞・与格・単数・女性
1:9(11)	και	カイ	そして	接続詞
1:9(12)	βασιλεια	バシレイア	王国に	名詞・与格・単数・女性
1:9(13)	και	カイ	そして	接続詞
1:9(14)	υπομονη	ウボモネイ	忍耐に	名詞・与格・単数・女性
1:9(15)	εν	エン	～[に]において	前置詞
1:9(16)	ιησου	イエイスー	イエス=ヤハウエハは救い=に	名詞・与格・単数・男性
1:9(17)	εγενομεν	エゲノメイン	[私は]居ました	動詞・第二アオリスト・中間デポネント・叙実・一人称・単数
1:9(18)	εν	エン	～[に]においてその中に	前置詞
1:9(19)	τη	テエイ	それに	定冠詞・与格・単数・女性
1:9(20)	νησω	ネイソウ	島に	名詞・与格・単数・女性
1:9(21)	τη	テエイ	それに	定冠詞・与格・単数・女性
1:9(22)	καλουμενη	カルーメネイ	～と呼ばれる[所に]	動詞・現在・受動・分詞・与格・単数・女性
1:9(23)	πατρω	パトモウ	パトモス=私の殺し=	名詞・与格・単数・女性
1:9(24)	δια	ディア	～[を]目的に	前置詞
1:9(25)	τον	トン	それを	定冠詞・対格・単数・男性
1:9(26)	λογον	ロゴン	言葉を	名詞・対格・単数・男性
1:9(27)	του	トゥー	その	定冠詞・属格・単数・男性
1:9(28)	θεου	ゼウー	神の	名詞・属格・単数・男性
1:9(29)	και	カイ	そして	接続詞
1:9(30)	την	テイン	それを	定冠詞・対格・単数・女性
1:9(31)	μαρτυριαν	マルトゥリアン	証しを	名詞・対格・単数・女性
1:9(32)	ιησου	イエイスー	イエス=ヤハウエハは救い=の	名詞・属格・単数・男性

【参考】パトモス島

パトモス島 (Patmos) は、エーゲ海に浮かぶギリシアの小島 (面積 : 34.6 km²、最高標高 : 269m) で、「エーゲ海のエルサレム」とも言われる。ローマ帝国はこの島を流刑地 (監獄島) として使い、AD95 年には皇帝礼拝を拒んだ使徒ヨハネがドミティアヌス帝 (在位 : AD81 年～96 年) によってこの島に幽閉された (ヨハネはパウロの後を引き継いだエフェソでの牧会―宣教、礼拝―後に囚われ、鉱山で働かされた)。その後、人の住まない地となっていたが、東ローマ帝国コムネノス王朝のアレクシオス一世 (東ローマ帝国―ビザンツ帝国―コムネノス王朝の初代皇帝―在位 : 1081 年～1118 年) が、1080 年に正教会 (ギリシア正教もしくは東方正教会) の修道僧クリストドゥーロスにパトモス島を下賜したことから、大きく変わった。

聖ヨハネ修道院を含むキリスト教時代の建造物は、1999 年に世界遺産 (文化遺産) に登録されている。



【一言】「兄弟」表記について

黙示録 (新共同訳) には、「兄弟」という言葉が、1 : 9、6 : 11、12 : 10、12 : 11、19 : 10、22 : 9 の 6 聖句に出て来る。今回、31 年ぶりに改訂された「聖書協会共同訳」では、1 : 9 以外は漢字表記の「兄弟」からひらがな表記の「きょうだい」になっている。

ちなみに、英語版聖書 (New International Version) では、下記表記となっている。

- 1 : 9 your brother and companion
- 6 : 11 their brothers and sisters
- 12 : 10 our brothers and sisters
- 12 : 11 They (=our brothers and sisters)
- 19 : 10 your brothers and sisters
- 22 : 9 your fellow prophets

→聖書協会共同訳では、原意が損なわれない範囲で、極力、差別的な表記を和らいだ表現に変えている。今回の代表的な例として、女性が入っていると分かる文脈では、「兄弟」を「きょうだい」に変更、また、「はしため」を「仕え女」に変更 (ルツ記 2 : 13 他) している。

なお、黙示録 1:9 は、ヨハネが男性なので、「兄弟」表記となっている。

1:10 ある主の日のこと、私は霊に満たされていたが（→聖霊に捕えられ、神から幻を示される不可抗力的な力がヨハネに臨んでいる。これは神がヨハネに理解させたかったことを夢うつつの状態や夢の中で示したのであろう。）、後ろの方で（主の御臨在を告げる）ラッパのような大きな響く（天上のイエス・キリストの）声を聞いた（→後ろから語りかけられるとは、将来から語りかけられることで、ユダヤでは、目の前にあることはすでに見ることのできる過去であり、見ることのできない背後にこそ、将来はあると考えた）。

主の日に私は御霊に捕えられた、そして私のうしろでラッパの音のような大きな声を聞いた、

▶主の日は、安息日（→土曜日：金曜日日没～土曜日日没までの24時間）、あるいは、キリスト教の特有な名称で、暦でいう「日曜日」（主イエス・キリストが復活され、弟子たちに現れてくださった週の初めの日＝イエスが復活した日）とする考え方もできるが、ここでは、ヨハネが霊的に満たされ、神からの啓示を受けやすい状態（≡トランス状態：通常とは異なった意識状態、入神状態）になった特別の日と思われる（∵ギリシア語では「主の」は形容詞となっている）。

→旧約聖書では、「主の日」は「裁きの日」という意味で用いられる。

▶ラッパ（喇叭）の語源は未詳。オランダ語の *roeper*、サンスクリットで「叫ぶ」の意の *rava*、*rava* に由来する中国語の「喇叭 (la ba)」や蒙古名 *rapal* など諸説ある。

1:10(01)	εγενομην	エゲノメイ	[私は]居ました	動詞・第二アオリスト・中間デポネント・叙実・一人称・単数
1:10(02)	εν	エン	～[に]においてその中に	前置詞
1:10(03)	πνευματι	プニューマティ	霊に	名詞・与格・単数・中性
1:10(04)	εν	エン	～[に]において	前置詞
1:10(05)	τη	テエイ	それに	定冠詞・与格・単数・女性
1:10(06)	κυριακη	クリアケイ	主のものに	形容詞・与格・単数・女性
1:10(07)	ημερα	エイメラ	日に	名詞・与格・単数・女性
1:10(08)	και	カイ	そして	接続詞
1:10(09)	ηκουσα	エイクーサ	[私は]聞きました	動詞・アオリスト・能動・叙実・一人称・単数
1:10(10)	οπισω	オピソウ	後に	副詞
1:10(11)	μου	ムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
1:10(12)	φωνην	フォウネイン	声を	名詞・対格・単数・女性
1:10(13)	μεγαλην	メガレイン	大きい[ものを]	形容詞・対格・単数・女性
1:10(14)	ως	オウス	～[の]のような	副詞
1:10(15)	σαλπιγγος	サルピンゴス	喇叭の	名詞・属格・単数・女性

【参考】ダニエル書 10:8～9

私はひとり残ってその壮大な幻を眺めていたが、力が抜けていき、姿は変わり果てて打ちのめされ、気力を失ってしまった。その人の話す声が聞こえてきたが、私は聞きながら意識を失い、地に倒れた。

【参考】ゼカリヤ書 4:1

私に語りかけた御使いが戻って来て、私を起こした。私は眠りから揺り起こされた者のようであった。

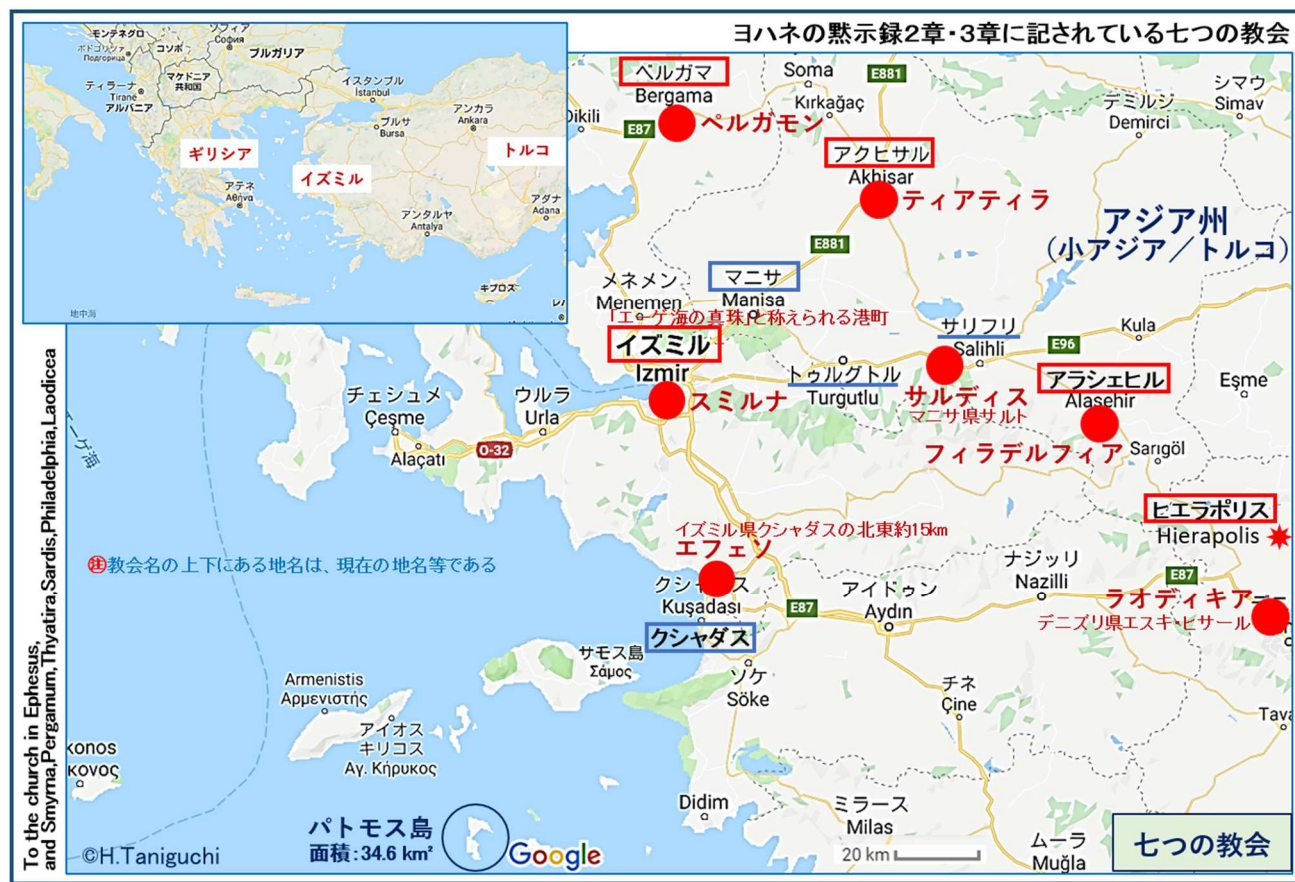
1:11 その声（→イエス・キリスト）はこう言った。「❶あなた（→ヨハネ）が~~の~~見ていることを巻物に記し~~書いて~~、エフェソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルデイス、フィラデルフィア、ラオディキアの（アジア州にある）❷七つの教会に送れ。」

それはこういった、「君が見ていることを巻き物に書け、そして七つの教会に、（すなわち）エフェソスに、スミルナに、ペルガモンに、ティアティラに、サルデイスに、フィラデルフェイアに、ラオディケイアに送れ」と。

▶七つの教会はキリスト教の歴史に存在することになる教会（使徒の時代から今日までの教会の歴史の変遷、姿）を予め啓示している。

1:11(01)	λεγουσης	レグーセイス	こう言う[ものの]	動詞・現在・能動・分詞・属格・単数・女性
1:11(02)	ο	オ	それは～ことを	関係代名詞・対格・単数・中性
1:11(03)	βλεπεις	ブレペイス	[あなたは]見る	動詞・現在・能動・叙実・二人称・単数
1:11(04)	γραφον	グラブソン	[あなたは]書き記しなさい	動詞・アオリスト・能動・命令・二人称・単数
1:11(05)	εις	エイス	～[に]おいてその中に	前置詞
1:11(06)	βιβλιον	ビブリオン	巻物に	名詞・対格・単数・中性
1:11(07)	και	カイ	そして	接続詞
1:11(08)	πεμψον	ペムプソン	[あなたは]送りなさい	動詞・アオリスト・能動・命令・二人称・単数
1:11(09)	ταις	タイス	それらに	定冠詞・与格・複数・女性
1:11(10)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:11(11)	εκκλησιαις	エックレイシアイス	数ある教会に	名詞・与格・複数・女性
1:11(12)	εις	エイス	～[に]向かって	前置詞
1:11(13)	εφεσον	エフェソン	エフェソ=許された=に	名詞・対格・単数・女性
1:11(14)	και	カイ	そして	接続詞
1:11(15)	εις	エイス	～[に]向かって	前置詞
1:11(16)	σμυρναν	スミルナン	スミルナ=没薬=に	名詞・対格・単数・女性
1:11(17)	και	カイ	そして	接続詞
1:11(18)	εις	エイス	～[に]向かって	前置詞
1:11(19)	περγαμον	ペルガモン	ペルガモン=高さ=に	名詞・対格・単数・女性
1:11(20)	και	カイ	そして	接続詞
1:11(21)	εις	エイス	～[に]向かって	前置詞
1:11(22)	θυατειρα	スアティラ	ティアティラ=苦悩の香り=に	名詞・対格・複数・中性
1:11(23)	και	カイ	そして	接続詞
1:11(24)	εις	エイス	～[に]向かって	前置詞
1:11(25)	σαρδεις	サルデイス	サルデイス=赤い者たち=に	名詞・対格・複数・女性
1:11(26)	και	カイ	そして	接続詞
1:11(27)	εις	エイス	～[に]向かって	前置詞
1:11(28)	φιλαδελφειαν	フィラデルフェイアン	フィラデルフィア=同胞愛=に	名詞・対格・単数・女性
1:11(29)	και	カイ	そして	接続詞
1:11(30)	εις	エイス	～[に]向かって	前置詞
1:11(31)	λαοδικειαν	ラオディケイアン	ラオディキア=民の正義=に	名詞・対格・単数・女性

【参考】七つの教会



七つの教会がそれぞれ存在した七つの都市は、ローマ街道に沿っていた。



ローマ街道は、BC 312 年に着工され、ローマ帝国が支配を拡大するのに伴って、街道も延長された。幹線道路は約 8 万 6 千 km、全ての道路の総延長は 15 万 km (資料により 29 万 km) にも達した。軍隊の迅速な移動を目的としたため、できる限り直線で建設された。幅は 4m で馬車が行き違いできる広さであり、車道の両側には、3m の歩道が設けられていた。車道と歩道は分離された。



街道の断面

A:路床、B:20 cm 位の石、C:ローマン・コンクリート片や碎石など、D:ローマン・コンクリート、E:表層石、F:歩道、G:歩道止め石

出典 (図) : ウィキペディア ローマ街道

1:12 私は、語りかける声の主を見ようと~~して~~振り向いた。振り向くと、**七つの金の燭台** (→seven golden lampstands 七つの教会→メノラー〈七枝の燭台〉ではなく、7つの独立した金の燭台 1:20) が見え、

そこで私は私に話すその声（の主）を見るためにふり返った。ふり返った時、私は七つの金の燭台と、

▶「金の燭台」は、旧約時代の幕屋、あるいは神殿（幕屋）の聖所に置かれた七枝の燭台（＝メノラー menorah）ではなく、7台の独立した金の燭台である（→1:20）。

→教会は世の光であるゆえに、燭台に譬えられている。

→あなたがたは世の光である。（マタイによる福音書 5:14）



1:12(01)	και	カイ	そして	接続詞
1:12(02)	επεστρεψα	エペストレブサ	[私は]振り返りました	動詞・アオリスト・能動・叙実・一人称・単数
1:12(03)	βλεπειν	ブレペイン	見るため	動詞・現在・能動・不定詞
1:12(04)	την	テイン	それを	定冠詞・対格・単数・女性
1:12(05)	φωνην	フォウネイン	声を	名詞・対格・単数・女性
1:12(06)	ητις	エйтиス	それは～もの	関係代名詞・主格・単数・女性
1:12(07)	ελαλει	エラレイ	[彼は]語った	動詞・未完了・能動・叙実・三人称・単数
1:12(08)	μετ	メト	～[の]許に	前置詞
1:12(09)	εμου	エムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
1:12(10)	και	カイ	そして	接続詞
1:12(11)	επιστρεψας	エピストレブサス	振り返った[者は]	動詞・アオリスト・能動・分詞・主格・単数・男性
1:12(12)	ειδον	エイドン	[私は]見ました	動詞・第二アオリスト・能動・叙実・一人称・単数
1:12(13)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:12(14)	λυχνιας	ルクニアス	数ある燭台を	名詞・対格・複数・女性
1:12(15)	χρυσας	クルサス	金の[数あるものを]	形容詞・対格・複数・女性・複数

1:13 燭台の~~間中央~~には~~＝~~人の子（→イエス・キリスト）のような方がおり、足~~元~~まで届く衣（→大祭司が着る服を象徴するが、大祭司というよりも、「裁き主」の姿を表している）を着て、胸には（王を象徴する）金の帯を締めて~~い~~~~お~~~~ら~~~~れ~~~~た~~（→人の子のような方が神と等しい尊厳をもっておられる姿で、天上におられるイエス・キリストが裁き主〈大祭司〉であり、王であることを表している）。

その燭台のまん中に人の子のような方が足までとどく衣服を着て、胸に金の帯をしめているのを見た。

▶ダニエル書 10：5

目を上げて眺めると、見よ、一人の人が麻の衣を着、純金の帯を腰に締めて立っていた。

▶人の子、イエス・キリストは、御父から裁きの権威を与えられている。

▶燭台の~~間中央~~には~~＝~~人の子のような方がおり→イエス・キリストが燭台の間を歩いておられる姿、教会のために働いておられる様子。

→キリストと燭台の間に遮るものはなく、キリストは、教会で起こっているすべてのことをご存知である。これは、迫害のある者たちにとっては、心強く、大きな慰めである。そのキリストが、私たちに交わりの手を指し伸ばしておられ、私たちは、栄光の輝く裁き主としてのキリストを仰ぎ見る必要がある。

1:13(01)	και	カイ	そして	接続詞
1:13(02)	εν	エン	～[に]において	前置詞
1:13(03)	μεσσω	メソウ	真ん中に	形容詞・与格・単数・中性
1:13(04)	των	トウン	それらの	定冠詞・属格・複数・女性
1:13(05)	λυχνιων	ルクニOUN	数ある燭台の	名詞・属格・複数・女性
1:13(06)	ομοιον	オモイオン	～[に]似た[者を]	形容詞・対格・単数・男性
1:13(07)	υιον	ウイオン	息子に	名詞・対格・単数・男性
1:13(08)	ανθρωπου	アントロウブウー	[男の]人の	名詞・属格・単数・男性
1:13(09)	ενδεδυμενον	エンデドゥメノン	身に着けた[者を]	動詞・完了・中間態・分詞・対格・単数・男性
1:13(10)	ποδηρη	ポデエイツレイ	足まで届く[衣を]	形容詞・対格・単数・男性
1:13(11)	και	カイ	そして	接続詞
1:13(12)	περιεζωσμενον	ペリエゾウスメノン	締められた[者を]	動詞・完了・受動・分詞・対格・単数・男性
1:13(13)	προς	プロス	～[に]において	前置詞
1:13(14)	τοις	トイス	それらに	定冠詞・与格・複数・男性
1:13(15)	μαστοις	マストイス	両胸に	名詞・与格・複数・男性
1:13(16)	ζωνην	ゾウネイン	帯を	名詞・対格・単数・女性
1:13(17)	χρυσαν	クルサン	金の[ものを]	形容詞・対格・単数・女性

【参考】レビ記 26:12

私はあなたたちのうちを巡り歩き、あなたたちの神となり、あなたたちは私の民となる。

1:14 ~~その方の頭髪はその頭、その髪の毛は、~~白い（→白は、神の栄光、神の神聖さ、あるいは永遠性を表わす）羊毛に似て←雪のように白く（→ダニエル書 7:9 を用いることによって、ヨハネは、人の子のような方が神と等しい尊厳をもっておられることを伝えている）、目は燃え上がる~~まるで燃え盛る~~炎（→目はすべてを見通す。教会に対する、激しい、燃えるような愛、罪に対する容赦ない裁き、鋭い洞察力等を象徴している）、

彼の頭と髪は白い羊毛のように、雪のように白く、その眼は火の炎のようであり、

▶キリストは、七つの燭台の中に立っておられる。そして、七つの教会を裁く権威と資格を持っておられる。それゆえ、七つの教会に手紙を書き送られるのである。

→教会は、①悔い改め（聖め、聖化）と②褒賞を目的とした裁きを受ける。

→この世は、罪の罰としての裁きを受ける。

▶ダニエル書 7:9ab

なお見ていると、／王座が据えられ／「日の老いたる者」（→永遠の神、父なる神）がそこに座した。その衣は雪のように白く／その白髪は清らかな羊の毛のようであった。

1:14(01)	η	エイ	それは	定冠詞・主格・単数・女性
1:14(02)	δε	デ	そして	接続詞
1:14(03)	κεφαλη	ケファレイ	頭は	名詞・主格・単数・女性
1:14(04)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:14(05)	και	カイ	そして	接続詞
1:14(06)	αι	アイ	それらは	定冠詞・主格・複数・女性
1:14(07)	τριχες	トリケス	諸々の髪の毛は	名詞・主格・複数・女性
1:14(08)	λευκαι	リューカイ	白い[ものたち]	形容詞・主格・複数・女性
1:14(09)	ως	オウス	～のように	副詞
1:14(10)	εριον	エリオン	羊毛	名詞・主格・単数・中性
1:14(11)	λευκον	リューコン	白い[もの]	形容詞・主格・単数・中性
1:14(12)	ως	オウス	～のように	副詞
1:14(13)	χιων	キオウン	雪	名詞・主格・単数・女性
1:14(14)	και	カイ	そして	接続詞
1:14(15)	οι	オイ	それらは	定冠詞・主格・複数・男性
1:14(16)	οφθαλμοι	オフサルモイ	両目は	名詞・主格・複数・男性
1:14(17)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:14(18)	ως	オウス	～のよう	副詞
1:14(19)	φλοξ	フロクス	炎	名詞・主格・単数・女性
1:14(20)	πυρος	プロス	火の	名詞・属格・単数・中性

1:15 足は燃えている炉から注ぎ出される青銅（→別訳：しんちゅう、英語版聖書では bronze: 青銅）のようであり、~~で精錬されたしんちゅうのように輝き~~、声は大水のとどろき（→全地に響き渡り、驚異的な威力をもたらす威厳に満ちた、畏怖の念を抱かせる声→轟、轟き）のようであった。

His feet were like bronze glowing in a furnace, and his voice was like the sound of rushing waters. (New International Version)

His feet were like fine brass, as if refined in a furnace, and His voice as the sound of many waters; (New King James Version)

その足は、炉で灼熱されたような黄金銅に似ていて、その声は沢山の水の音のようであり、

▶青銅は銅 Cu を主成分として錫（スズ）Sn を含む合金（＝砲金）、真鍮は銅 Cu と亜鉛 Zn（含有率が20%以上）の合金（＝黄銅：こうどう、おうどう）である。英語版聖書では「bronze(青銅)」「brass(真鍮)」となっている。

1:15(01)	και	カイ	そして	接続詞
1:15(02)	οι	オイ	それらは	定冠詞・主格・複数・男性
1:15(03)	ποδες	ポデス	両足は	名詞・主格・複数・男性
1:15(04)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:15(05)	ομοιοι	オモイオイ	似ている[ものたち]	形容詞・主格・複数・男性
1:15(06)	χαλκολιβανω	カルコリバノウ	精製した真鍮に	名詞・与格・単数・中性
1:15(07)	ως	オウス	～のように	副詞
1:15(08)	εν	エン	～[に]においてその中で	前置詞
1:15(09)	καμινω	カミノウ	炉に	名詞・与格・単数・女性
1:15(10)	πεπυρωμενης	ペプロウメネイス	燃やされた[ものの]	動詞・完了・受動・分詞・属格・単数・女性
1:15(11)	και	カイ	そして	接続詞
1:15(12)	η	エイ	それは	定冠詞・主格・単数・女性
1:15(13)	φωνη	フオウネイ	声は	名詞・主格・単数・女性
1:15(14)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:15(15)	ως	オウス	～のよう	副詞
1:15(16)	φωνη	フオウネイ	音	名詞・主格・単数・女性
1:15(17)	υδατων	ウダトオウン	諸々の水の	名詞・属格・複数・中性
1:15(18)	πολλων	ポッロウン	多くの[諸々のものの]	形容詞・属格・複数・中性

1:16 また、右の手に七つの星を持ち、口からは鋭い^{δυσκην}両刃の剣（→神の言葉、あるいは最後の審判の言葉を表す）が突き出て、顔は強く照り輝く太陽（→神の栄光の輝き：シャカイナ・グローリー〈神の特別な光、目に見える形で現れた神の栄光〉）のようであった。

その右手に七つの星を持ち、その口から鋭いもろ刃の剣が出ていて、その顔は太陽がま盛りに輝いているようであった。



▶「右」は、最も信頼すべき存在を意味し、「手」は権威を象徴する。主はその右手にご自身の御心を行うために、天使たちを従えている。→七つの星は、天上のキリスト、神と同じ尊厳を持つキリストの右手に握られ、守られている。

▶星：天使→七つの星=七つの教会の天使たち（1：20）

▶剣は、「ロムファイア」（ギリシア語）という言葉を使用している（下記参照）。

これは、古代の東ヨーロッパ、現在のブルガリアを中心とした地域に住んでいたトラキア人が使っていた幅広く長い大きな剣である。



図：トラキアの戦士 ウィキペディアより

1:16(01)	και	カイ	そして	接続詞
1:16(02)	εχων	エコウン	持つ[者は]	動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性
1:16(03)	εν	エン	～[に]において	前置詞
1:16(04)	τη	テエイ	それに	定冠詞・与格・単数・女性
1:16(05)	δεξια	デクシア	右の[ものに]	形容詞・与格・単数・女性
1:16(06)	χειρι	ケイリ	手に	名詞・与格・単数・女性
1:16(07)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:16(08)	αστερας	アステラス	星々を	名詞・対格・複数・男性
1:16(09)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:16(10)	και	カイ	そして	接続詞
1:16(11)	εκ	エク	～[の]中から	前置詞
1:16(12)	του	トゥー	その	定冠詞・属格・単数・中性
1:16(13)	στοματος	ストマトス	口の	名詞・属格・単数・中性
1:16(14)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:16(15)	ρομφαια	ロムファイア	剣が	名詞・主格・単数・女性
1:16(16)	διστομος	ディストモス	両刃の[ものが]	形容詞・主格・単数・男性
1:16(17)	οξεια	オクセイア	鋭い[ものが]	形容詞・主格・単数・女性
1:16(18)	εκπορευομενη	エクポリュエオメネイ	出ている[ものが]	動詞・現在・中間受動デポネント・分詞・主格・単数・女性
1:16(19)	και	カイ	そして	接続詞
1:16(20)	η	エイ	それは	定冠詞・主格・単数・女性
1:16(21)	οψις	オプシシ	顔は	名詞・主格・単数・女性
1:16(22)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:16(23)	ως	オウス	～のように	副詞
1:16(24)	ο	オ	それ	定冠詞・主格・単数・男性
1:16(25)	ηλιος	エイリオス	太陽	名詞・主格・単数・男性
1:16(26)	φαινει	ファイネイ	[それは]輝いています	動詞・現在・能動・叙実・三人称・単数
1:16(27)	εν	エン	～[に]において	前置詞
1:16(28)	τη	テエイ	それに	定冠詞・与格・単数・女性
1:16(29)	δυναμει	ドゥナメイ	強力に	名詞・与格・単数・女性
1:16(30)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性

【参考】ヘブライ人への手紙 4:12

というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髓とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができるからです。

1:17 この方（→イエス・キリスト）を見たとき、私は（ショックのあまり）死人のようにその足元に倒れた。~~その方を見ると、その足もとに倒れて、死んだようになった。~~すると、その方は右手を私の上に置いて言われた。☞「**①恐れてはならない**。な。**②私は最初の者でありにして最後の者、**

そして私が彼を見た時、私は彼の足もとに死人のように倒れた。すると彼はその右手を私の上において言われた、「恐れるな、私は最初の者であり最後の者であり

▶☞（1：17）～☞（3：22）→イエス・キリストが語った言葉部分

1:17(01)	και	カイ	そして	接続詞
1:17(02)	οτε	オテ	～時	副詞
1:17(03)	ειδον	エイドン	[私は]見た	動詞・第二アオリスト・能動・叙実・一人称・単数
1:17(04)	αυτον	アウトン	彼を	人称代名詞・対格・単数・男性
1:17(05)	επεσα	エペサ	[私は]倒れました	動詞・第二アオリスト・能動・叙実・一人称・単数
1:17(06)	προς	プロス	～[に]向かって	前置詞
1:17(07)	τους	トゥース	それらに	定冠詞・対格・複数・男性
1:17(08)	ποδας	ボダス	両足に	名詞・対格・複数・男性
1:17(09)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:17(10)	ως	オウス	～のように	副詞
1:17(11)	νεκρος	ネクロス	死んだ[者]	形容詞・主格・単数・男性
1:17(12)	και	カイ	そして	接続詞
1:17(13)	εθηκεν	エセイケン	[彼は]置きました	動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・単数
1:17(14)	την	テイン	それを	定冠詞・対格・単数・女性
1:17(15)	δεξιαν	デクシアン	右手の[方を]	形容詞・対格・単数・女性
1:17(16)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
1:17(17)	επ	エプ	～[に]おいててその上に	前置詞
1:17(18)	εμε	エメ	私に	人称代名詞・一人称・対格・単数
1:17(19)	λεγων	レゴウン	こう言う[者は]	動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性
1:17(20)	μη	メイ	～ことはありません	離接助詞・否定
1:17(21)	φοβου	フォブー	[あなたは]恐れなければならない	動詞・現在・中間受動デポネント・命令・二人称・単数
1:17(22)	εγω	エゴウ	私は	人称代名詞・一人称・主格・単数
1:17(23)	ειμι	エイミ	[私は]～です	動詞・現在・無態・叙実・一人称・単数
1:17(24)	ο	オ	それ	定冠詞・主格・単数・男性
1:17(25)	πρωτος	プロウトス	最初の[者]	形容詞・主格・単数・男性
1:17(26)	και	カイ	そして	接続詞
1:17(27)	ο	オ	それ	定冠詞・主格・単数・男性
1:17(28)	εσχατος	エスカトス	最後の[者]	形容詞・主格・単数・男性

【参考】ダニエル書 10:8～9

私（→ダニエル）はひとり残ってその壮大な幻を眺めていたが、力が抜けていき、姿は変わり果てて打ちのめされ、気力を失ってしまった。その人の話す声が聞こえてきたが、私は聞きながら意識を失い、地に倒れた。

【参考】ゼカリヤ書 4:1

私（→預言者ゼカリヤ）に語りかけた御使いが戻って来て、私を起こした。私は眠りから揺り起こされた者のようであった。

1:18 また、生きている者である。③**ひとたび一度**は死んだが、見よ、世々限りなく生きて**おり**（→永遠の存在）、④**死と陰府**（→Hades ハデス）の**鍵**（→死と陰府にある扉の鍵＝権威）を持っている。

生きている者である。私は（一度は）死んだが見よ永遠の永遠にわたって生きている、そして死と陰府の鍵を持っている。

▶ヨハネにイエス・キリストは励ましと確証の言葉を語っている。

▶死と陰府の鍵を持っている。→イエスが復活によって死に勝利され、死も陰府もイエスの支配のもとにあり、私たちの教会の中におられ、私たちを力ある御手で握り、守ってくださっている。

→陰府（Hades ハデス）は、ヘブライ語で「シェオル」と呼ばれ、すべての死者（魂）が行き、住む、暗く光のない地下の世界で、誰がいるかもわからず、意識も何も感じない全く静寂な世界で、終末の裁きを待つ場所。陰府で罰と苦しみを受けるわけではない。サタンの権勢を閉じ込める権威を持っていることを意味している。

1:18(01)	και	カイ	そして	接続詞
1:18(02)	ο	オ	それ	定冠詞・主格・単数・男性
1:18(03)	ζων	ゾウン	生きている[者]	動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性
1:18(04)	και	カイ	そして	接続詞
1:18(05)	εγενομην	エゲノメイン	[私は]～になりました	動詞・第二アオリスト・中間デポネント・叙実・一人称・単数
1:18(06)	νεκρος	ネクロス	死んだ[者]	形容詞・主格・単数・男性
1:18(07)	και	カイ	そして	接続詞
1:18(08)	ιδου	イドウー	[あなたは]見なさい	動詞・第二アオリスト・能動・命令・二人称・単数
1:18(09)	ζων	ゾウン	生きている[者]	動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性
1:18(10)	ειμι	エイミ	[私は]～です	動詞・現在・無態・叙実・一人称・単数
1:18(11)	εις	エイス	～[に]において	前置詞
1:18(12)	τους	トゥース	それらに	定冠詞・対格・複数・男性
1:18(13)	αιωνας	アイオウナス	諸々の世に	名詞・対格・複数・男性
1:18(14)	των	トウン	それらの	定冠詞・属格・複数・男性
1:18(15)	αιωνων	アイオウノウン	諸々の世の	名詞・属格・複数・男性
1:18(16)	και	カイ	そして	接続詞
1:18(17)	εχω	エコウ	[私が]持っています	動詞・現在・能動・叙実・一人称・単数
1:18(18)	τας	タス	それらを	定冠詞・対格・複数・女性
1:18(19)	κλεις	クレイス	諸々の鍵を	名詞・対格・複数・女性
1:18(20)	του	トゥー	その	定冠詞・属格・単数・男性
1:18(21)	θανατου	サナトウー	死の	名詞・属格・単数・男性
1:18(22)	και	カイ	そして	接続詞
1:18(23)	του	トゥー	その	定冠詞・属格・単数・男性
1:18(24)	αδου	アドウー	死者の国の	名詞・属格・単数・男性

【参考】陰 府

「よみ」と呼び、「Hades ハデス」（ギリシア語）と言われる。一般には「黄泉」という漢字が使われるが聖書では、「陰府」が使われる。

聖書の中に出て来る用語で、陰府とは、①死者の行く場所、もっと詳しく言えば、②（未信者の）魂が死んだ後に行く、「世の終末の裁き」を待つ間の中間状態で置かれる場所をいう。暗黒と静止の場所であり、死者はそこで影のような存在になると考えられていたが、旧約時代後期や新約時代になって次第に罰の観念が強くなり、いわゆる地獄（ゲヘナ：神の究極の裁きによって罪人が入れられる苦しみ場所）と同義に用いられるようになったが解釈には異論が多い。

★★★★★★★★★★ ヨハネ、イエスより、黙示録を書き記すことを命ぜられる ★★★★★★★★★★★

1:19 それゆえさあ、**①**あなたが見たこと（過去）を、**②**今あること（現在）を、また**③**後に起こること（将来）を書き記せ~~今後起ころうとしていることを書き留めよ。~~

Write, therefore, **①**what you have seen, **②**what is now and **③**what will take place later.

だから君が（今）見たことと（現在）あることとこれらの後に起こるであろうこととを書け。

▶あなたが見たこと（過去）：1章10節～18節に記されている栄光の主イエスの幻

▶今あること（現在）：2・3章に記されている七つの教会の現状

▶後に起こること（将来）：教会時代が終わった後に起こること→4章～22章

1:19(01)	γραφον	グラフソン	[あなたは]書き記しなさい	動詞・アオリスト・能動・命令・二人称・単数
1:19(02)	ουν	ウン	それで	接続詞
1:19(03)	α	ア	それは～ことを	関係代名詞・対格・複数・中性
1:19(04)	ειδες	エイデス	[あなたが]見た	動詞・第二アオリスト・能動・叙実・二人称・単数
1:19(05)	και	カイ	そして	接続詞
1:19(06)	α	ア	それは～ことを	関係代名詞・対格・複数・中性
1:19(07)	εισιν	エイシン	[それらは]ある	動詞・現在・無態・叙実・三人称・複数
1:19(08)	και	カイ	そして	接続詞
1:19(09)	α	ア	それは～ことを	関係代名詞・対格・複数・中性
1:19(10)	μελλει	メツレイ	[それは]～しようとしている	動詞・現在・能動・叙実・三人称・単数
1:19(11)	γινεσθαι	ギネツサイ	起こること	動詞・現在・中間受動デボネント・不定詞
1:19(12)	μετα	メタ	～に伴ってその後で	前置詞
1:19(13)	ταυτα	タウタ	これらの[諸々のことに]	指示代名詞・対格・複数・中性

1:20 あなたは、私の右の手に七つの星と、七つの金の燭台とを見たが、それらの秘められた意味（→秘儀）はこうだ。すなわち、①七つの星は七つの教会の天使たち、②七つの燭台は七つの教会である。

君が私の右手に（あるのを）見た七つの星と七つの金の燭台の奥義について言えば、七つの星は七つの教会の（守護）天使であり、七つの燭台は七つの教会である。

▶右の手は、「権威」の象徴である。→七つの星は、神様と同じ尊厳を持っておられる天上のキリストの右の手に握られ、守られている。

▶星は天使、燭台は教会（←教会には世に光を届ける使命がある）を象徴している。。

1:20(01)	το	ト	それは	定冠詞・主格・単数・中性
1:20(02)	μυστηριον	ムステイリオン	秘密(の意味)は	名詞・主格・単数・中性
1:20(03)	των	トウン	それらの	定冠詞・属格・複数・男性
1:20(04)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:20(05)	αστερων	アステロン	数ある星の	名詞・属格・複数・男性
1:20(06)	ους	ウス	それは～もの	関係代名詞・対格・複数・男性
1:20(07)	ειδες	エイデス	[あなたが]見た	動詞・第二アオリスト・能動・叙実・二人称・単数
1:20(08)	επι	エピ	～[の]上に	前置詞
1:20(09)	της	テイス	その	定冠詞・属格・単数・女性
1:20(10)	δεξιας	デクシアス	右手の[方の]	形容詞・属格・単数・女性
1:20(11)	μου	ムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
1:20(12)	και	カイ	そして	接続詞
1:20(13)	τας	タス	それらを	定冠詞・対格・複数・女性
1:20(14)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:20(15)	λυχνιας	ルクニアス	燭台を	名詞・対格・複数・女性
1:20(16)	τας	タス	それらを	定冠詞・対格・複数・女性
1:20(17)	χρυσας	クルサス	金の[数あるものを]	形容詞・対格・複数・女性・複数
1:20(18)	οι	オイ	それらは	定冠詞・主格・複数・男性
1:20(19)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:20(20)	αστερες	アステレス	数ある星は	名詞・主格・複数・男性
1:20(21)	αγγελοι	アングロイ	天使たち	名詞・主格・複数・男性
1:20(22)	των	トウン	それらの	定冠詞・属格・複数・女性
1:20(23)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:20(24)	εκκλησιων	エックレイシオン	数ある教会の	名詞・属格・複数・女性
1:20(25)	εισιν	エイシン	[それらは]～です	動詞・現在・無態・叙実・三人称・複数
1:20(26)	και	カイ	そして	接続詞
1:20(27)	αι	アイ	それらは	定冠詞・主格・複数・女性
1:20(28)	λυχνiai	ルクニアイ	数ある燭台は	名詞・主格・複数・女性
1:20(29)	αι	アイ	それらは	定冠詞・主格・複数・女性
1:20(30)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:20(31)	επτα	エプタ	七つ	不変化数詞
1:20(32)	εκκλησiai	エックレイシアイ	数ある教会	名詞・主格・複数・女性
1:20(33)	εισιν	エイシン	[それらは]～です	動詞・現在・無態・叙実・三人称・複数

【参考】 七つの教会と七つの燭台の関係

①エフェソと⑦ラオディキアにある教会 → 愛の欠如と律法主義

②スミルナと⑥フィラデルフィアにある教会 → 忠実／イエスの譴責なし・称賛

③ペルガモンと⑤サルディスにある教会 → 堕落／道に迷っている教会

④ティアティラにある教会

教会の地理的な位置関係もこのような関係である（次頁参照）→

